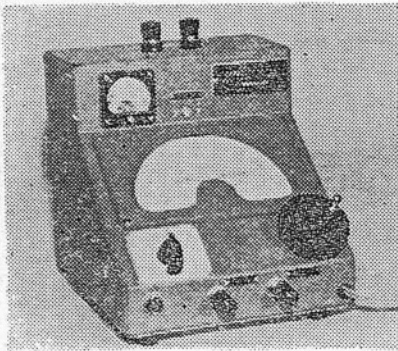


国内最新製品紹介

デリカの直流式容量計

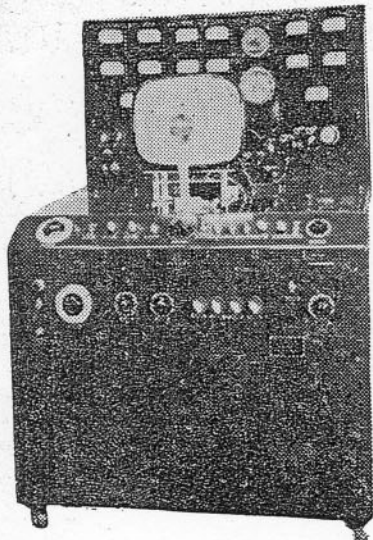
本機は特許の特許回路を応用し、BC帯のRFを電源として、バリコン、ポリバリコン、漂遊容量、抵抗体などに含まれる容量などを単にダイヤルをまわすだけで、直読で0.1~600 pFが精度±0.1%で測定できる。バリコン、ポリバリ、マイカコン等を測定するにはほんの1~3秒しかかからない。測定原理は同社の特許であるゲーテッド・ビーム法によって、共振点が自動的にメーターに指示され、そのときの測定容量がダイヤルにpF単位で示される構造となっている。定価は¥20,000。



(東京都港区芝麻布竹谷町6)
三田無線研究所

NBCのブラウン管試験機

NBCブラウン管の日本電子興業から写真のようなTVブラウン管の万能試験機を発売した。動作安定なリレーを使用し、1個のセレクタースイッチにより順次その諸元を測定することができる。特性試験ではチューナーおよび映像増幅部の回路も設けてあるので、パターン信号および各チャンネルの放送も受けられ、また偏向部も90°、100°の2種類があり、その偏向面積も注意の大きさに調節することができるから、

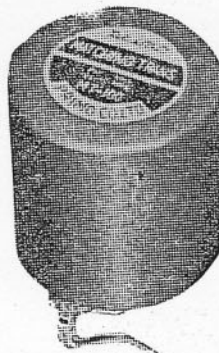


偏向角度の異なるブラウン管も容易に測定できる。主な測定内容は①Em試験、②耐圧試験、③漏洩試験、④特性試験、⑤カソード最大電流測定、⑥GR試験、⑦カソード、ヒーター管の絶縁試験などである。外形寸法は幅1,000×高さ1460×奥行980mmで、定価は¥800,000

(東京都大田区雑谷町4の39)
日本電子興業 KK

プリモのマッチング・トランス “MT-100”

一般に、マイクのコードを長くのばすにはローインピーダンス型を使っているが、それにしてもアンプの入力インピーダンスはマイクの出力インピーダンスに比較して非常に高いのでいろいろの障害がおきるが、これをさけるため

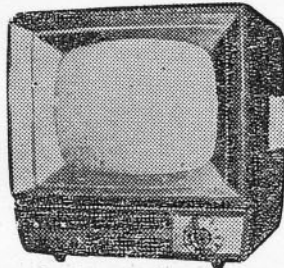


このマッチング・トランスを使うのである。これはマイクのみでなく種々な用途にも使うことができる。規格を列記するとインピーダンス比: 600Ω: 50kΩ、定損失1.4dB、大きさ: 直径45mm、高さ51mm、周波数特性: 50~10,000c/s、2dBとなっている。定価は¥950。

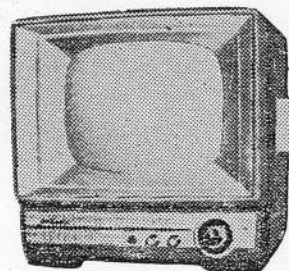
(東京都三鷹市牟礼2の43)
プリモ KK

ユタカの14型TVキット2種

写真にのらんのようなTV受像機のキットが2種類売り出された。DX60-KN型はIF3段の17球、ST60-K型はIF2段の15球で、両型



DX60-KN



ST60-K

ともHHシリーズ真空管を使って高感度を得ている。本キットには実物大の実体配線図がついているので組立ては容易である。定価はDX60-Kが¥33,000、ST60-Kが¥29,500。

(東京都台東区長者町1の4)
ユタカ電機 KK

東和電機の自動電圧安定器

電圧変動がはげしくて、ラジオやテレビの受信に困っている人たちへ向けたものであるが本機は特に14型テレビ(トランスレス、セミレス)用に設計したもので、VS-307YとVS-308Yの2種が手動(スライド)電圧調整器と同じ価格で売り出された。307Yは50c/s用で、308Yは60c/s用である。規格は入力電圧75~120V出力電圧100V、容量150VA、最適容量135VA以下、重量4kgである。値段は¥4,500。



(東京都品川区西大崎2の160)
東和電機

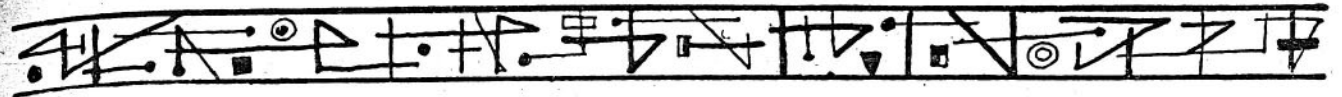
Totoku(東特)の

ジュムメーター

東洋特殊電器KKの売り出した超小型メーターで、小型電気機器の音量、電圧、電流、同調指示計として使えるものである。構造はムービング型センター・マグネット直流電流計で、零位置外部調整可能のものである。タイプは100型、150型、200型、300型などあり、電流感度は150μA、500μAの2種があり、内部抵抗はそれぞれ約440Ω(150μA)が約180Ω(500μA)。

使用例をあげれば、①電池計量を行うための押ボタンSW等により音声出力回路からSWオフし、倍率抵抗を入れて電池端子に切換える(電圧計)、②電池計量を行うとき正規の負荷状態にして電池と直列に分流抵抗をつけ加えた回路に切換え、常時は音量レベルを定性的に表示させる(電流計)、③電池計量を行うために押ボタンSW等により同調指示を表示していた

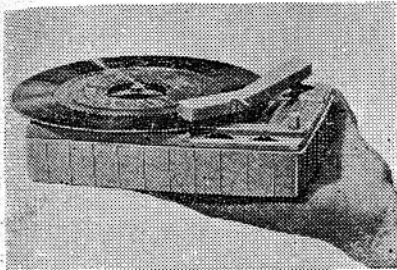




回路を切換えて電池両端子の電圧を倍率抵抗を通して測定する等である。小売価格は一番小型な M-100 型が ¥ 350 である。
(長野県小県郡丸子町大字長瀬 3381)
東洋特殊電器 KK

スタンダードの超小型 フォノラジオ“フォノン”

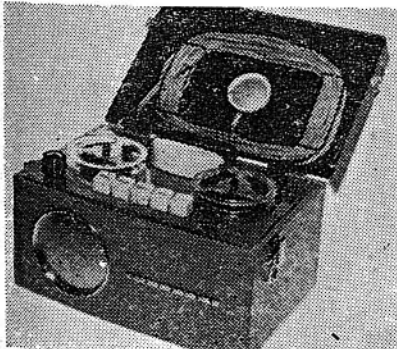
トランジスター 7 個、ゲルダイ 2 個、サーミスター 1 個の中波用ラジオの組込まれたフォノラジオで、プレーヤー部はマイクロモーターと直径 100 mm (7" 盤に適合) のターンテーブル、アーム長 108 mm のクリスタル PU より成立っていて、回転数は 45 rpm である。出力は無歪 180 mW、最大 280 mW、スピーカーは 8 cm PM 型である。電源は単二 4 個を直列にした 6V、消費電流は無信号時にラジオ約 10 mA、フォノ 80 mA である。モーターとターン・テーブルの結合は本質的にはリム・ドライブであるが、アイドラーの圧力がモーター・シャフトとターン・テーブルとに均等に加わるべくリンク結合方式として回転ムラを抑えている。またモーター SW を切り忘れて電池の消耗を早めるのを防ぐため二重のモーター・スイッチが設けられている。外径寸法は 181×133×53 (mm) で、重量は電池ともで 1.3 kg で、三、四月頃市販されるという。



(東京都渋谷区向山町 53)
スタンダード無線工業 KK

東芝の小型テレコ“GT-31”

本機は 3 号リールのテープを使うポータブル・テープレコーダーで、あらゆる操作は押ボタンによって行われる。テープ速度は 4.75 cm/秒と 9.5 cm/秒の 2 段切換で、ダブル・トラックになっており、録音時間は前者のとき約 30 分、後者では 15 分である。使用した真空管は 12AU6×2, 30A5, 35W4 の 4 本で、スピーカーは 9 cm 型パーマネントである。出力は 1.0 W、消費電力は 70 VA、周波数特性は 4.75 cm/秒のとき 150~4000 c/s、9.50 cm/秒のとき 150~6000 c/s となっている。外形寸法は幅 255×高



さ 160×奥行 170 (mm) で、重量は約 5 kg である。定価はクリスタル・マイク、3 号リール付テープ等の付属品がついていて ¥ 18,000。
(東京都千代田区有楽町 朝日新聞新館 6 階)
東京芝浦電気 KK。レコード事業部

KS の新製品 2 種

●プレーヤー KL-28 型

4 コイル 4 極モーター、17 cm (7") ターンテーブルを使用した小型プレーヤーで、PU はロネット・タイプのクリスタル型 (ターンオーバー方式) で、家庭用ステレオ演奏に好適なものである。回転数は 16²/₃, 33¹/₃, 45, 78 r.p.m. の 4 スピードで、消費電力は 8 W、針圧 8 gr. 感度 0.7~1.3 V (50 mm/sec, 1000 c/s, 1 MΩ 負荷) となっている。



●KL-102 型プレーヤー

4 極インダクション・モーターを使った 4 スピードで、ステレオ演奏もできるものである。規格を列記すると、ワウ 0.3%, S/N 比 -35 dB, 消費電力 9 W、ターン・テーブル直径 25 cm (0.9 kg), PU はプラグイン式、クリスタルロネット型のもので、針圧は 8±1 gr. である。周波数特性は 30~12,000 c/s、感度は LP が 0.6~1.1 V (50 mm/sec, 1000 c/s, 1 MΩ 負荷), SP は 0.8~1.4 V である。



(名古屋市北區城東町 6 の 144)
ケイエス商事 KK

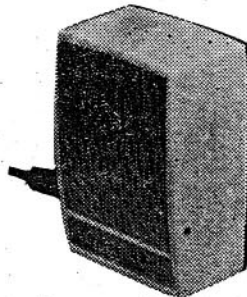
コーラルのダイナミック・マイク

“DM-1”

クリスタルの感度でベロシティの特性とうたっているもので、周波数特性は 90~8000 c/s ± 4 dB。インピーダンス 50 kΩ、感度 -44 dB (0 dB=0.002 μBar), 無指向性、外形寸法 74×51×36 (mm), 重量 420 gr. 付属コード 1.5 m という規格になっている。堅牢なダイキャスト・ボディの中に安定度の高い合成樹脂ダイアフラムによる高感度ユニットやマッチング・トランスが収められている。

(東京都千代田区神田旅籠町 3 の 8)

福洋音響 KK



フルタカの TV 受像機 FT-60A

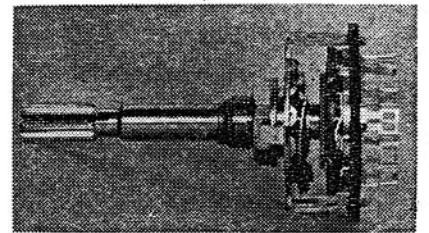
従来の FT-60 型に改良を加えたもので、目の疲労を防ぎ、鮮明なコントラストを得るためにスモークド・ガラスを使用している。前面パネルの輝度調整用ボリュームとダブルにして、音質調整もできるようになり、またブラウン管の盤光面保護のためスポット・キラー回路、アッテネーター回路もついている。



(東京都千代田区神田旅籠町 3 の 7)
古鷹無線 KK

田中無線電機の小型 ロータリー・スイッチ

本スイッチの接触片にはシルベニア (銀、橋青銅合金) を使用し、絶縁材料は PL11T を使用して、接触、耐久力、切味の向上をはかっている。主な規格を列記すると、接触抵抗は端子間に DC1A を通して測定して 10 mΩ 以下、絶縁抵抗は DC 500 V メガーにて測定して 300 MΩ 以上、絶縁耐力は端子間および端子軸間に AC 1000 V を加えて 1 秒間以下耐える。安全電流 100 V 0.5 A 以下、寿命は 10,000 回切換試験後、接触抵抗 15 mΩ 以下で機械的異常なし、等となっている。



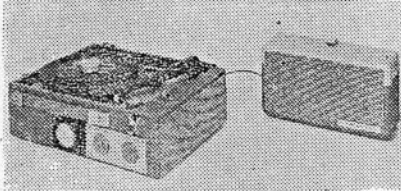
(東京都荒川区日暮里町 4 の 214)
田中無線電機製作所

クラウンのステレオ用 ポータブル電蓄“STP-35R”

トランジスター・ラジオと小型プレーヤーを組合せたようなものである。プレーヤーは直流特殊モーター (ガバナー付)、6¹/₂ インチ、ターンテーブル、ステレオ、LP、SP 両用のクリスタル PU から成っている。ラジオおよびアンプの内容は、トランジスター 11 個、ダイオード 1 個、バリスター 2 個を使い、受信周波数は 535~1605 kc、出力は最大 450 mW、無歪 250 mW となっている。出力段は 2N17



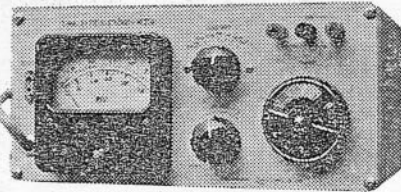
または 2SB77 の PP 回路が 2 組である。電源には単一 6 個を使い、スピーカーは 7.5×12.5 cm 型が 2 個 (1 個はステレオ用として外部スピーカー・キャビネットに入る) となっている。ラジオ・プレーヤー部の本体は 350×230×120 (mm) の大きさで、重量は 4.8 kg である。現金正価は電池別で ¥27,900。



(東京都千代田区神田末広町 38)
旭無線電気 KK

携帯型 TV 電界強度計 “S-890”

テレビ・サービス用に便利なポータブル型である。プリント配線と小型部品の組合わせて小型に設計されている。dB 目盛および mV 目盛の両方が記入されているから、アンテナ・ゲインの測定比較や正確な電界強度の比較測定が行える。また隣接チャンネルのトラップも設けられている。メーターは 3 インチの大型メーターにランプ付で暗い所でも測定可能である。測定感度範囲は 10 μV~30 mV (20 dB~90 dB)、受信範囲は 12 チャンネル、使用真空管は 6BQ7-A, 6J6, 6CB6×2, SD-46 (セレン) である。外形寸法は横 130×奥行 250×高さ 170 (mm)。



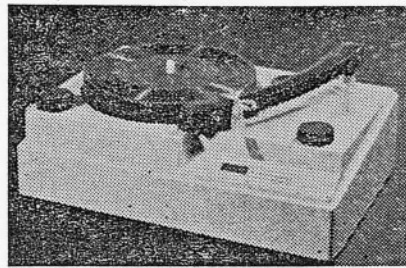
(京都市右京区西京極庄栄町 16 の 1)
スター無線測器 KK

東芝の新製品 2 種

●3 スピード・プレーヤー “TP-56”

プラスチック・カバーつき簡易型プレーヤーで、ソノラマ用として低価格にしたものである。ソノラマ用とはいいながら 3 スピード・インダクションモーターを使っているから、普通のレコードも楽しめるわけで、ピックアップはクリスタル・ロネット型、ターンオーバー式のものである。ターンテーブルには 160 mm 径のゴム・カバーがついている。針圧は LP, SP とも約 10

gr. 外形寸法は幅 309×奥行 212×高さ 143 (mm)、重量は約 2.5 kg である。定価は ¥3,950



●コンサート用高級ステレオ電蓄

下の写真にのりのような電蓄セットが売り出された。TPS-45 ステレオ・レコード・プレーヤー (定価 ¥57,000)、TPS-46 ステレオ・プリアンプ (¥47,000)、TAS-47 メインアンプ 2 個 (¥146,000)、TSS-48 スピーカー・システム 2 個 (¥250,000) が一組で、合計定価 ¥500,000 (うち物品税は ¥11,945) というものである。

プレーヤーは木製ビニール・レザー張り、31 cm アルミ・ダイキャストのターンテーブル、モーターは高級 4 極インダクション型 (マグネチック・ブレーキ付)、カートリッジは LP, SP がマグネチック型、ST がクリスタル型で各々ダイヤモンド針がついている。針圧は LP, SP 用が各 6 gr, ST 用が 5 gr で、外形寸法は幅 510×奥行 390×高さ 210 (mm) である。

プリアンプはキャビネットが木製上質レザー張り、使用真空管は 12AX7×5, 5MK9 の 6 本で、調整箇所は電源 SW, マイク・ミキサー音量、入力切換、バランス調整、それに、音量、高音、低音は各々 2 回路連動になっている。入力端子はフォノ、マイク、AUX、モニターの 4 つである。外形寸法は幅 530×奥行 255×高さ 180 (mm) である。

メインアンプ (1 回路分) は木製レザー張りで、電源は 110, 100, 85 V 切換、入力 -20 dB にてフル・パワー、出力インピーダンスは低音 8 Ω, 高音 16 Ω, 出力は低音の最大 16 W, 無歪 14 W, 高音は最大 8 W, 無歪 6 W である。使用真空管は 12AX7×3, 6BM8×2, 6R-P15×2, 5RK16×2 で、外形寸法は幅 510×奥行 390×高さ 210 (mm) である。

スピーカー・システム (1 回路分) はバスレフ (バッフル・ボード取付式) で、使用スピーカーはウーファは 30 cm プラスチック・コーン型 2 個、ツイーターは圧力型ホーン 1 個である。スピーカー入力はウーファ 20 W, ツイーター 10 W。インピーダンスはウーファ 8 Ω, ツイーター 16 Ω, クロスオーバー 2000 c/s, 外形寸法は

幅 300 奥行 500 高さ 1300 (キャビのみ)
#2000 # 610 # 1300 (バッフルをつけたとき)

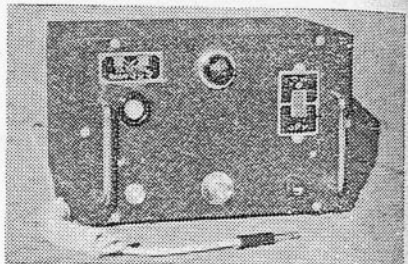
付属品として、ダイナミック・マイク、イヤホン・プラグ、ステレオ入門レコードのほかコード類がついている。

(東京都千代田区有楽町 朝日新聞ビル)
東京芝浦電気 KK・レコード事業部

マジマ・サイレン音発生装置

マジマ KK ではモーター・サイレンにかわる有線・無線放送用サイレン音発生装置を売り出した。建物の上にならんでいるトランペット・ホーンに使っている既設の拡声装置のマイク端子に本機 (写真) のジャックを入れれば、直ちに連続または断続するサイレン音を出すことができる。つまり既設の装置をそのまま流用したサイレン装置である。本体の大きさは横 270×奥行 160×高さ 170 (mm)、重量は 4 kg である。定価は付属品とも ¥16,000。

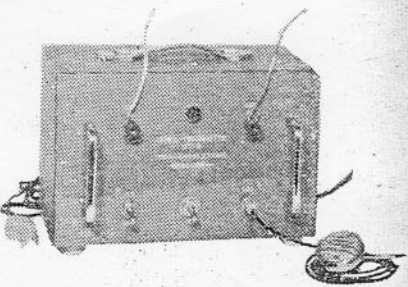
なお同社では “家路の鐘” と称する、ミュージカル・チャイム、トランペット・ホーン、アンプ、タイマー、マイク等を組合わせたセットも発売している。



(東京都杉並区久我山 2 の 561)
マジマ KK

江角のミニワット送信機 “UT-3”

本機は電波法施行規則第 6 条第 2 号による、いわゆる免許のいらない無線局であって、学校教材、事務所、一般家庭などで近距離連絡用として手軽に使えるものである。水晶共振方式で、周波数は 13.56 Mc または 27.12 Mc, 出力はアンテナ 2.5 m にて約 500 mW である。受信機としては簡単なコンバーターを併用すれば、家庭用 5 球スーパーを利用することができる。送信機付属のスイッチでアンテナと電源を切換えて交互に交信するものである。価格は完全キットが ¥7,800 (〒180)、完成品は ¥9,500 (〒200) である。



(東京都町田市金森 1 の 51)
江角電波研究所

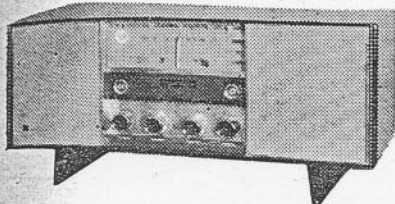




クライスラーの新製品2種

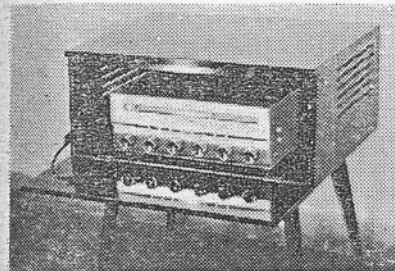
●ステレオ・スーパー・キャビ・キット “SR-1”

ステレオ熱の要求に応じて売出したもので、マジックアイ付5球スーパーから高一つきステレオ・スーパーまで組み込むことができる。スピーカーは16cm用でステレオまたは2スピーカーとすることのできるものである。シャシー前面にはアルミ板を使い、部品の追加、加工など容易なようになっている。また前面にイヤホン・ジャックも出ている。外形寸法は幅615×奥行260×高さ275(mm)である。



●Hi-Fi スタンド P-3000, P-1500

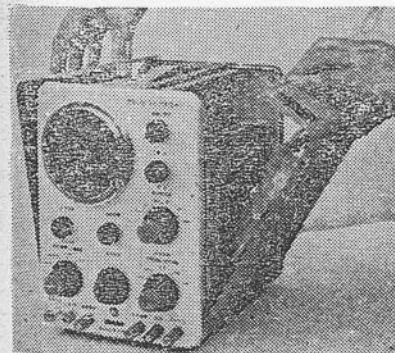
ハイファイ装置の普及にともない、アンプとプレーヤーの置場所が問題となっている。そこで、写真にのらんのようなケースが売出されたわけである。P-3000は横460×奥行355×高さ215(mm)、脚高280mmで、プロ級プレーヤーまで置ける。P-1500は横580×奥行430×高さ245(mm)、脚高は330mmのものである。



(東京都千代田区神田仲町2の3)
クライスラー電気 KK

キクスイのオッシロ “75E-1”

前に発売した OP-31C 型オッシロスコープと同じ性能をもち、さらに垂直軸周波数特性を1.5Mcまでのばしたもので、ブラウン管は75mmの3RP1を採用し小型化している。増幅器特性は、垂直1.5c/s~1.5Mc 80mV p-p/cm、水平1.5c/s~500kc 0.55V p-p/cm、掃引周波数は10c/s~100kc および TV. H、外形寸法は170×230×250(mm)で、重量は約6kgである。定価は¥67,000。

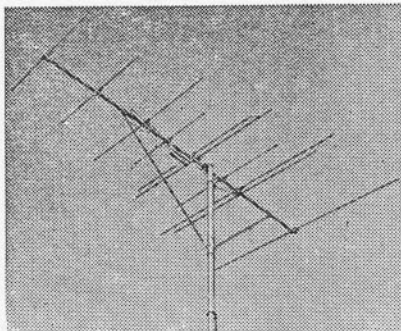


(東京都大田区馬込町西4の67)

菊水電波 KK

フジのTV アンテナ SW-8F “SKY REX”

これは複合素子とTマッチ・インライン方式との各長所を採り入れたもので、素子数は8素子であるが、各素子をハイ・チャンネルとローチャンネルとで能率的に重複して使用しているため、実質的には11素子のアンテナとして動作するものである。ハイチャンとローチャンとの切換はスパイラル・マッチングと名付けられた新考案の方式によって自動的に行われ、ローチャンにおける有効動作素子数は4素子、ハイチャンにおける有効動作素子数は7素子となっている。SW-8F SKY REXは非常に鋭い指向性を有し、特に第8チャンネル以上では電力半直角前15°後という優れた値を示しており、その前方対後方比(電力比)は15~22dBを有しているからゴースト防止に有効である。定価は¥3,200。



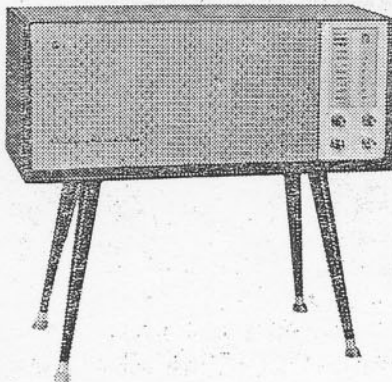
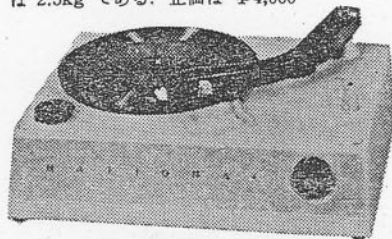
(東京都江戸川区西小松川2の130)

富士アンテナ工業 KK

ナショナルの新製品

●超実用型レコード・プレーヤー

歌う雑誌ブームにそなえた簡易プレーヤーでスピードのリム・ドライブ方式である。ターンテーブルは17cmゴムカバー付、ピックアップはターンオーバーのクリスタル型WX-30B、再生周波数は40~12000cs、針圧は8gである。形状は幅301×奥行237.2×高さ133mm、重量は2.3kgである。正価は¥4,000

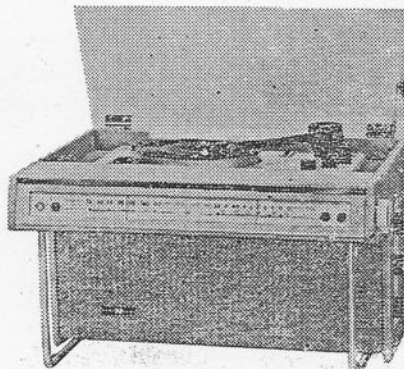


●2バンドHi-Fiラジオ“DH-730”

使用真空管は6BE6-6BD6-6AV6-6BQ5-6X4-6DA5の5球スーパーであるが、20cmスピーカーと12cmスピーカーの2個を使っている。出力は無歪2W、最大2.4Wで、消費電力は48VAである。外径寸法は幅688×高さ312×奥行290(mm)で、重量は10.3kgである。正価は¥19,800。

●2バンド・ステレオ・ラジオグラフ “DG-825”

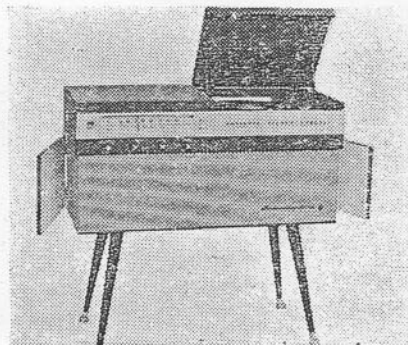
ちょっと風変わりなピアノ・スタイルの電器である。ラジオ部は535~1605kc、3.7~12Mcの2バンドで、使用真空管は12BA6、12BA6、12AV6、30A5、35W4の5本である。プレーヤー部はターンオーバー型ステレオPUと4スピードのフォノモーターを組合わせたものである。電気的出力は無歪1.3W、最大1.8Wで、スピーカーは20×12cmの楕円型のものを使っている。外形寸法は幅460×高さ260×奥行415(mm)で、重量は8.7kgである。正価は¥24,900。



●ステレオ・コンソラ “HC-51”

ステレオ・ラジオ“CH-51”と4スピード・ステレオ・プレーヤー・ユニット“6U-51”の2点を組合わせたもの。ラジオ・アンプ部の真空管は6BE6(周波)、6DC8(1F兼第2検波AGC)、6BM8×2(低増出力増幅)、6CA4(整流)、6DA5(同調)となっており、出力は無歪2W×2、最大2.5W×2、消費電力は65VA、2スピーカーは18cm型W-709R2個と16cm型P-630S2個が入っている。外形寸法は幅800×高さ720×奥行326(mm)で、重量は15.1kgである。

適合プレーヤーである6U-51はステレオ用4スピードのものである。値段はHC-51が¥33,000、6U-51が¥5,000で合計¥38,000となる。



(大阪府北河内郡門真町)

松下電器産業・ラジオ事業部